運営会議たより

12月/2021年/NO.48

発行■特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）［鎌倉市市民活動センター指定管理者］
TEL0467-60-4555 FAX0467-61-3928 ■E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp ■http:// npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

特集：「第５期指定管理者に選定」

次世代のＮＰＯセンター

季節、今年は秋を感じることなくいきなり冬に突入したような日々を感じますね。緊急事態宣言も明け、鎌倉にも以前の活気が戻って良かったと思う反面まだまだ気が抜けない日々が続いております。

現在、成長支援２０２１のサポーターとして「いろんなカタチ鎌倉（以下団体）」の活動を支援させていただいている中、団体の日々の活動が分かるイベントが11月５日（土）～21（日）までMUJIcomホテルメトロポリタン鎌倉で行われました。会場内の設営は手作り感満載で来場者にはアットホームな雰囲気を与え、幅広い客層に団体の活動を知ってもらえて、本当に素晴らしい機会だったと思います。現在、この団体は次の世代作り（次世代、Ｚ世代）を行っている中、この様な機会を通して、次世代、Ｚ世代にこの団体の活動に興味・関心を持ってもらえれば、人材確保につながっていくのでは・・・

さて、次世代、Ｚ世代といえば、先日行われた市民活動フェスティバルは例年とは違い、野外で行われ、このフェスティバルの企画には次世代、Ｚ世代の若者のアイディアや知見経験を取り入れ、盛り上げ役の一端を担っていただきました。

この様な活動はＮＰＯセンターにとっても大変貴重な経験であり、今後はもっとこの世代が活動に参画してもらえることにより、新たなＮＰＯセンターの姿が作れるものと思います。

また、若者も鎌倉で貢献できる場所を探しており、この様な機会があれば双方にとっても大変素晴らしい活動の場になって行くのでは・・・。

今回のフェスティバルで、実現出来ていないイベントの一つに「若者と企業」のマッチングがあります。鎌倉で生まれ、育った若者は、「いかに鎌倉で自分自身貢献できるか」を日々考えている中で、出来れば鎌倉の企業で働き、地域に貢献したいと・・・

鎌倉にある企業の情報取集する術がうすく、若者のニーズを満たしてない。一方で鎌倉には知られてはないが世界に誇る企業もある。今後は、「若者と企業」のマッチングを通して若者のニーズを満たし、貢献出来る場所のヒントを与える、また、多くの若者に鎌倉の企業を知ってもらう場作りとして、ＮＰＯセンターが橋渡し役をできれば素晴らしいと思います。

（理事　今泉直也）

※Ｚ世代とは：一九九〇年後半から二〇〇〇年代に生まれた人を指す。現在の年齢で十～二一歳。

■*鎌倉市市民活動センター運営会議（以下、運営会議）は、*
市民活動団体支援を目的とするNPO中間支援組織です

■*運営会議は、鎌倉市 NPO センター（鎌倉・大船）2館の指定管理者です*

■*鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします*

令和４年４月から３年間

市民活動センター第５期指定管理者に選定

鎌倉市市民活動センターの第５期（令和４年４月～令和７年３月）指定管理者候補として私共「鎌倉市市民活動センター運営会議」（以下運営会議）が選定されました。

この選定は「鎌倉市市民活動センター指定管理者選定委員会」（以下選定委員会）の決定によるものです。

選定委員会は９月29日に開催されました。私ども運営会議のほかに１団体が応募されましたので両者によるコンペという形になりました。事業計画書そのものはすでに８月末に提出しました。当日はまず私ども運営会議が、役員等５名が説明員として出席して選定委員を対象に向こう３年間の事業計画の補足説明を15分間行い、選定委員の方との質疑応答を30分間行いました。その後もう一つの応募団体が同様の説明と質疑応答を行いました。

応募者団体は、もう一方の応募者団体の名前もその事業計画も全く知ることができないという仕組みになっています。

応募者団体関係者以外の一般市民の方の傍聴は認められていて、利用登録団体の方等３名の方が傍聴してくださいました。

10月中旬に市役所所管課（市民防災部地域のつながり課）から指定管理者候補として決定した旨の通知がありました。

12月の市議会での議決を経て指定管理者として指定される段取りです。

なお今回の指定管理者選定委員の方は次の５名の方でした。

・委員長　土屋　真美子氏（日本女子大学家政経済学科非常勤講師、認定ＮＰＯ法人まちぽっと　理事）

・副委員長　相川　誉夫氏（社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会　常務理事）

・委員　石渡　孝二氏（特定非営利活動法人鎌倉ガイド協会　会長）

・委員　丸尾　恒雄氏（特定非営利活動法人タウンサポート鎌倉今泉台　理事長）

・委員　矢野　直子氏（東京地方税理士会鎌倉支部　税理士）

本年度第２回全員会議を開催しました　――23名が出席

10月30日（土）15時から17時に玉縄交流センター会議室で本年度第２回の全員会議を開催しました。

コロナ禍から完全に脱却できていない中での開催でしたが、23名の会員の参加を得ることができました。

初めに石川理事長から、今期上半期の活動について次のような報告がありました。

上半期の活動　――理事長の説明内容

・昨年に続き、今期も９月１日付で事務局職員３名を新規採用した
・事務局次長職を設けた
・専門相談員制度を新設し、５名に委嘱した
・相続セミナーを開催した（上半期２回、下半期１回）
・センターホームページの一層の充実を図り、合わせてＷＥＢ環境の整備を図った
・嘱託もしくは業務委託により会員以外の方からのマンパワーを確保した
・理事の在任期間制限の緩和のために定款を変更した
・役員選挙管理規定を改訂する予定である（運営会議役員に立候補するにあたっては会員歴１年以上の会員３名の推薦を必要とする）
・団体正会員の廃止（定款変更を要するので次期総会にて提案の予定）
・ＺＯＯＭ講座を自主事業として上半期に計５回開催した。コロナ禍に鑑み、団体内コミュニケーションの確保並びに市民団体として

市民の皆様とのコミュニケーション促進のためのツールとして取り組んだ。下半期にはＺＯＯＭ会議主催の手引きをテーマとして指定管理事業として実施する予定である。

・第５期指定管理者として応募した

指定管理者選考委員会でのプレゼンテーション内容を確認

続いて、入江麻里子副理事長から、パワーポイント資料（つながりを固め、つながりを広めるーー鎌倉市市民活動センターの指定管理者応募に当たり）を用いて、９月29日の指定管理者選定委員会での事業計画補足説明プレゼンテーションの再演がありました。

４グループでグループ討議

続いて４つのグループに分かれてグループ討議を行いました。テーマは「市民活動を盛り上げようーＮＰＯ活動を活性化するために運営会議として何をしたら良い？」です。

グループ討議で出た主な意見

・ボランティア活動希望者に希望通りのボランティア活動を案内することが大事

・テーマを絞ったイベントや体験ツアーを開催してボランティア希望者を募ったらどうか

・一般市民に市民活動を理解してもらうにはHPやコミュニティ紙の活用が有効

・利用登録団体懇話会を内容あるものにして市民活動団体同士がつながるようにすべき

・センター施設が他市に比べあまりにも貧弱。これを何とかすべき。

部会員を募っています

運営会議には部会が３つあります。ファンド部会、協働事業推進部会、相談部会です。いずれの部会も部会員を募っています。

ファンド部会は利用登録団体に対する活動資金助成の仕組みである「かまくらファンド」の運営を担っています。応募団体の募集、選考委員会や活動報告会の運営が主な活動です。毎年11月３日に選考委員会が開催されます。選考委員は利用登録団体の役員や学識経験者にお願いしています。

ファンド部会や「かまくらファンド」について詳しくはホームページをご参照ください。

協働事業推進部会は、文字通り鎌倉市との協働事業を推進することを任務としています。常時、市役所の「地域のつながり課」と情報交換・意見交換をしています。

協働事業部会の活動、協働事業の実績等はHPをご参照ください。

また相談部会では、ＮＰＯ法人格取得・助成金・補助金等の申請について助言や支援の活動をしたい方を募集しています。

ユーチューブで見れます！
――第３回地域共生社会推進全国サミットinかまくら」

令和３年11月18日と19日の２日間にわたり、オンラインの生配信により開催された「第３回地域共生社会推進全国サミットinかまくら」がYouTube 鎌倉市公式チャンネルで録画配信されます。

プログラムは次の通りです。

【開会式】

【基調講演「安心安全なデジタル社会の創成」】（慶應義塾大学教授　村井純氏）

【パネルディスカッション（メインテーマ）「安心して自分らしく暮らせるまちをつくるために」】

【鎌倉の取組紹介】（鎌倉海藻ポーク、鎌倉リビングラボ、共生社会の実現を目指す鎌倉市の取組）

【パネルディスカッション（サブテーマ①）「多様な社会参加で、安心して自分らしく暮らせるまちをつくる」】

【パネルディスカッション（サブテーマ②）「ＳＯＳの声とつながり、社会的孤立を防ぐには」】

【パネルディスカッション（サブテーマ③）「災害時に誰一人取り残さないために～福祉、防災、コミュニティの連結～」】

詳しくは≪鎌倉市のホームページ≫市政情報≫をご覧ください。

また問い合わせ先は次の通りです。

所属課室：共生共創部地域共生課

らしと福祉の相談担当

「Zoomよ、ありがとう」

感染リスクの軽減や遠隔地でも映像画面を共有できる便利さから使用者が増えたZoom。今やオンライン会議システムの代名詞ともいえます。すでに体験されたという方も多くなってきたのでは？

私が主宰する「鎌倉検定歩き学び塾」でもこの四月から講座スタイルをZoom開催に変え、コロナで中断していた活動を再開するきっかけをいただきました。団体の中でのコミュニケーションの一つとして、また、定員以上の参加者を見込んだセミナーの開催など、これからの会の活動を飛躍的に活性化することでしょう。

運営会議では一般の方を対象として、四月から九月まで毎月二回の連続講座「さぁ、今こそZoom」を行い、参加者は延べ63人にものぼりました。一人3,000円×63＝189,000円！今年の運営会議（自主事業）の大黒柱といっても過言ではないですね。

参加者に動機をうかがったところ、「自宅でできる体操教室参加のため」、「Zoomはよく耳にするようになったけど、基本操作から順に教えてくれるところを探していた」、「以前、ここのパソコン教室に通っていたが、こちらの側に立って熱心に指導してくれた。今回もきっとそうだろうと思って参加した」など。密を避けるコロナ禍とはいえ、人からじかに教えてもらう大切さは変わりませんね。

ご自分のパソコンを持参することで、明日からご自分で操作できるような実践的な講座です。未体験の方、ぜひ、お試しください。あなたの世界が変わるかもしれません・・・・

なお、二月には本年度の締めくくりの講座として「Zoomホスト役徹底講座」を指定管理事業として開催しますのでふるってご参加ください。

来期以降も引き続き、パソコン、Zoom、スマホ、ＬＩＮＥ等、ＩＣＴ（インターネットコミュニケーションテクノロジー）関連講座を積極的に展開します。

別項で紹介している「第3回地域共生社会推進全国サミットinかまくら」で村井先生が協調されていらっしゃるように、デジタルテクノロジーはこれからの暮らしに大きな可能性を秘めています。中間支援組織の立場として、市民活動団体がデジタル化に遅れないように、市民の誰一人も置いてきぼりにならないように、と願っています。（大津理津子）



会員募集

運営会議は会員によって支えられています。入会随時です。

〈会費〉
正会員
　個人正会員　2,000円
　団体正会員　3,000円
賛助会員
　個人1,000円、2口以上
　団体1,000円、3口以上
正会員数　87名
団体正会員数　13団体
賛助会員数　16名
賛助団体数　181団体
（12月1日現在）

ほやほや 正会員

皆様、初めまして。9月に正会員として入会いたしました八木と申します。戸塚から台に移住して六年半になります。その頃に漠然と考えた人生設計で、元気な内にボランティア活動に参加することとしておりました。この度、ご縁があって入会いたしました。理事長様のアドバイスもいただいてファンド部会に所属しております。

秋のイベントが続く機会に恵まれて、すでに多くの皆さんとお知り合いになることができました。鎌倉の市民活動に関わる団体の数と活動内容の多様性に驚き、皆さんが活動に注がれている情熱に敬服しております。

また、市民活動という視座を得て、何が大切なのだろうかという素朴な感性が磨かれていくのを感じております。

これから、先輩の皆さんのご指導を仰ぎながら、自分自身の活動を進めるに当たって、今感じている初心を忘れずに、邁進したいと思います。　八木　正

鎌倉市市民活動センター運営会議は「認定NPO法人」格を取得しています
“あなたのご寄附が、鎌倉の街を元気にします”
ご寄附いただいた場合、「寄附金控除」制度が適用され、確定申告で税金の還付が受けられます
お問い合わせはＮＰＯセンターまで！！